

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-220	高等学校	外国語科	コミュニケーション英語 II	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183・第一	コ II・350	Viva! English Communication II		

1．編修の基本方針 本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。 (1) 各レッスンの題材は、生徒の興味・関心をひき、知的好奇心を刺激するものを中心に選定し、やさしい英語で提供した。 (2) 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」を有機的に関連づけ総合的に学習できるよう、各レッスンの本文を手がかりに、それと連携したさまざまな活動の場を提供する構成とした。 (3) 各レッスンのそれぞれのパートは、左ページに本文、右ページに本文内容に関する活動と本文に出現する言語材料に関する活動を配置し、学習の便をはかった。 (4) 設問等の指示を日本語と英語で併記したり、聞いたり読んだりした内容を英語で答える問題を設けることにより、生徒が英語に触れ、英語を積極的に発する場を豊富に設けた。 (5) 「コミュニケーション英語 I」の言語材料も復習的に取り上げた。言語材料を言語活動と関連づけて練習する場を豊富に提供した。																														
2．対照表																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">図書構成・内容</th> <th style="width: 50%;">特に意を用いた点や特色</th> <th style="width: 25%;">該当箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">Lesson 1 <i>Emoji</i> Communications</td> <td style="padding: 5px;">日本と海外の絵文字の相違から文化の違いに気づかせ、「絵文字」という単語がそのまま英語で受容されていることを学ぶ(第5号)。</td> <td style="padding: 5px;">p.4-11</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">Lesson 2 <i>Kendamas</i> Worldwide</td> <td style="padding: 5px;">日本の伝統遊戯であるけん玉が海外に伝播し、独自の発展を遂げていることを学ぶ(第5号)。</td> <td style="padding: 5px;">p.14-21</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">Lesson 3 I'm from Mars!</td> <td style="padding: 5px;">火星への人類の到達と、そこでの居住の可能性と問題点を紹介した(第1号)。</td> <td style="padding: 5px;">p.26-33</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">Lesson 4 <i>Appli Koshien</i></td> <td style="padding: 5px;">「アプリ甲子園」の活動を介した、高校生によるアプリ創作の可能性や、アプリを創作することの意義を学ぶ(第2号)。</td> <td style="padding: 5px;">p.38-45</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">Lesson 5 Things Have Souls!</td> <td style="padding: 5px;">インダストリアルデザインの基本理念を知り、ものが作られた際に留意された点や創意工夫を学ぶ(第2号)。 榮久庵憲司氏の広島での体験を通じ、平和について考えさせる(第5号)。</td> <td style="padding: 5px;">p.50-57 p.50-57</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">Lesson 6 Looking for New Energy</td> <td style="padding: 5px;">将来のエネルギー問題を解決する可能性のある技術について紹介し、同時に学習者自身もエネルギー節約について考えることを期待した(第4号)。</td> <td style="padding: 5px;">p.60-67</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">Lesson 7 Taylor's Reading Corners</td> <td style="padding: 5px;">ALT として熱心に日本の子供たちに英語を教えたテイラー・アンダーソン氏を取り上げた(第2号)。 東日本大震災において、自らの命を顧みずに子供たちの命を救おうとした氏を取り上げた(第3号)。</td> <td style="padding: 5px;">p.74-81 p.74-81</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">Lesson 8 The World's Poorest President</td> <td style="padding: 5px;">ムヒカ大統領の暮らしぶりや、その演説内容から、消費社会の在り方について考えさせる(第3号・第4号)。</td> <td style="padding: 5px;">p.84-91</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">Lesson 9 <i>Shitamachi</i></td> <td style="padding: 5px;">下町ポップスレープロジェクトに参画する職人たちの働きぶりやでき上がった製品を紹介し、自身の仕事に誇りを持つことの大切</td> <td style="padding: 5px;">p.96-103</td> </tr> </tbody> </table>	図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	Lesson 1 <i>Emoji</i> Communications	日本と海外の絵文字の相違から文化の違いに気づかせ、「絵文字」という単語がそのまま英語で受容されていることを学ぶ(第5号)。	p.4-11	Lesson 2 <i>Kendamas</i> Worldwide	日本の伝統遊戯であるけん玉が海外に伝播し、独自の発展を遂げていることを学ぶ(第5号)。	p.14-21	Lesson 3 I'm from Mars!	火星への人類の到達と、そこでの居住の可能性と問題点を紹介した(第1号)。	p.26-33	Lesson 4 <i>Appli Koshien</i>	「アプリ甲子園」の活動を介した、高校生によるアプリ創作の可能性や、アプリを創作することの意義を学ぶ(第2号)。	p.38-45	Lesson 5 Things Have Souls!	インダストリアルデザインの基本理念を知り、ものが作られた際に留意された点や創意工夫を学ぶ(第2号)。 榮久庵憲司氏の広島での体験を通じ、平和について考えさせる(第5号)。	p.50-57 p.50-57	Lesson 6 Looking for New Energy	将来のエネルギー問題を解決する可能性のある技術について紹介し、同時に学習者自身もエネルギー節約について考えることを期待した(第4号)。	p.60-67	Lesson 7 Taylor's Reading Corners	ALT として熱心に日本の子供たちに英語を教えたテイラー・アンダーソン氏を取り上げた(第2号)。 東日本大震災において、自らの命を顧みずに子供たちの命を救おうとした氏を取り上げた(第3号)。	p.74-81 p.74-81	Lesson 8 The World's Poorest President	ムヒカ大統領の暮らしぶりや、その演説内容から、消費社会の在り方について考えさせる(第3号・第4号)。	p.84-91	Lesson 9 <i>Shitamachi</i>	下町ポップスレープロジェクトに参画する職人たちの働きぶりやでき上がった製品を紹介し、自身の仕事に誇りを持つことの大切	p.96-103
図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所																												
Lesson 1 <i>Emoji</i> Communications	日本と海外の絵文字の相違から文化の違いに気づかせ、「絵文字」という単語がそのまま英語で受容されていることを学ぶ(第5号)。	p.4-11																												
Lesson 2 <i>Kendamas</i> Worldwide	日本の伝統遊戯であるけん玉が海外に伝播し、独自の発展を遂げていることを学ぶ(第5号)。	p.14-21																												
Lesson 3 I'm from Mars!	火星への人類の到達と、そこでの居住の可能性と問題点を紹介した(第1号)。	p.26-33																												
Lesson 4 <i>Appli Koshien</i>	「アプリ甲子園」の活動を介した、高校生によるアプリ創作の可能性や、アプリを創作することの意義を学ぶ(第2号)。	p.38-45																												
Lesson 5 Things Have Souls!	インダストリアルデザインの基本理念を知り、ものが作られた際に留意された点や創意工夫を学ぶ(第2号)。 榮久庵憲司氏の広島での体験を通じ、平和について考えさせる(第5号)。	p.50-57 p.50-57																												
Lesson 6 Looking for New Energy	将来のエネルギー問題を解決する可能性のある技術について紹介し、同時に学習者自身もエネルギー節約について考えることを期待した(第4号)。	p.60-67																												
Lesson 7 Taylor's Reading Corners	ALT として熱心に日本の子供たちに英語を教えたテイラー・アンダーソン氏を取り上げた(第2号)。 東日本大震災において、自らの命を顧みずに子供たちの命を救おうとした氏を取り上げた(第3号)。	p.74-81 p.74-81																												
Lesson 8 The World's Poorest President	ムヒカ大統領の暮らしぶりや、その演説内容から、消費社会の在り方について考えさせる(第3号・第4号)。	p.84-91																												
Lesson 9 <i>Shitamachi</i>	下町ポップスレープロジェクトに参画する職人たちの働きぶりやでき上がった製品を紹介し、自身の仕事に誇りを持つことの大切	p.96-103																												

Bobsleigh Project	さを学ぶ(第2号)。	
Lesson 10 LION IN THE WIND	ケニアで医療活動に従事した柴田紘一郎氏と、氏をモデルに さだまさし氏が制作した楽曲『風に立つライオン』を取り上げ た(第2号・第3号)。	p.108-115
Reading Shin-chan's Tricycle	原子爆弾の悲劇を現代の視点から綴った物語文を扱った(第 5号)。	p.118-122
Further Reading Alice's Adventures in Wonderland	児童文学『不思議の国のアリス』のうち、現代の生徒にとっ てわかりやすく身近でもある場面を取り上げ、物語文に親しむ 場とした(第1号)。	p.124-129

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、紹介された人物や事象について、自分の立場であらためて考え、自らの考えや意見を表明する場である Try!を Reading, Further Reading 末に設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-220	高等学校	外国語科	コミュニケーション英語 II	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183・第一	コ II・350	Viva! English Communication II		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- (1) 積極的に英語を学び、コミュニケーションをはかろうとする態度を育成し、英語による言語活動を行うことが授業の中心になるよう配慮した。
 - ・設問の指示文などを日本語と英語で併記した。
 - ・各レッスンには、Listen and Answer や Questions に英問を設置し、本文内容について英語で答える場を豊富に設けた。
- (2) 「聞く」「読む」「話す」「書く」の四領域が総合的かつ統合的に育成されるように、各レッスンの構成を次のようにした。
 - ・冒頭に、本文のテーマに関する英問を聞いて答える Listen Up と、各レッスンの本文内容に関する語句や背景情報をチェックする Get Ready を設けた。本文の学習に入る前に、題材内容へのスキーマを活性化させることも意図した。
 - ・本文の各パートは、左ページを本文を中心としたページに、右ページを本文内容に関する活動と本文に出現する言語材料を中心としたページにした。
 - ・各レッスンの言語活動の中心・源泉となる本文の内容は、生徒の興味や関心に適合するよう、生徒の日常的な次元に接点を置くものを中心とした。
 - ・各パートの右ページは、本文の要旨となる部分の理解を問う質問を聞いて答える Listen and Answer、本文内容の理解を問う質問に口頭であるいは書くことによって答える Questions、文構造や文法事項を含む文を抽出した Grammar、それらの練習問題である Check からなる。
 - ・課末の Summary は、本文で得た内容のまとめとして、日本語で要約を完成させる問題とした。
 - ・課末の Points には本文で登場する文法事項のまとめを、Exercises にはそれらの練習問題を配置した。
 - ・課末の Sounds では英語の音声上の特徴をまとめた。
 - ・冒頭ページや本文ページには、写真や図版を大胆に配置した。内容の理解を補助するためだけでなく、それらが言語活動の中で積極的に用いられることも期待した。
- (3) 「コミュニケーション英語 I」の言語材料も復習的に取り上げた。言語材料を言語活動と関連づけて練習する場を豊富に提供した。
 - ・関係代名詞の非制限用法を導入する前に「コミュニケーション英語 I」で既習の関係代名詞の制限用法を置くなど、既習事項の復習と新出事項の段階的な導入に意を用いた。
 - ・巻末の「文法のまとめ」に、各レッスンで出現した文法事項の例文と補足的な説明を記載した。
- (4) 「言語の使用場面」と「言語の働き」を有機的に結びつけた練習を特に意識した活動として、「For Communication」を全3か所に設置した。
- (5) 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりする練習の場として、「For Reading」を全3か所に設置した。
- (6) 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりする表現例集として、巻末に「Expressions」を設置した。

2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	担当時数
Lesson 1 Listen Up 本文 パート冒頭リード文	(1)のア, (2)のア (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ	p.4 p.6・8・10 p.6・8・10	8

	側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar , Check Points , Exercises Sounds	英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア , (2)のア (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア	p.6・8・10 p.7・9・11 p.7・9・11 p.7・9・11 p.12～13 p.13	
Lesson 2	Listen Up 本文 パート冒頭リード文 側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar , Check Points , Exercises Sounds	(1)のア , (2)のア (1)のイ , (2)のイ , (2)のウ (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア , (2)のア (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア	p.15 p.16・18・20 p.16・18・20 p.16・18・20 p.17・19・21 p.17・19・21 p.17・19・21 p.22～23 p.23	8
For Reading 1		(1)のイ , (2)のイ , (2)のウ	p.24～25	2
Lesson 3	Listen Up 本文 パート冒頭リード文 側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar , Check Points , Exercises Sounds	(1)のア , (2)のア (1)のイ , (2)のイ , (2)のウ (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア , (2)のア (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア	p.27 p.28・30・32 p.28・30・32 p.28・30・32 p.29・31・33 p.29・31・33 p.29・31・33 p.34～35 p.35	8
For Communication 1		(1)のア , (1)のイ , (2)のア , (2)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等1の [言語の使用場面] お よび [言語の働き]	p.36～37	2
Lesson 4	Listen Up 本文 パート冒頭リード文 側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar , Check Points , Exercises Sounds	(1)のア , (2)のア (1)のイ , (2)のイ , (2)のウ (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア , (2)のア (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア	p.39 p.40・42・44 p.40・42・44 p.40・42・44 p.41・43・45 p.41・43・45 p.41・43・45 p.46～47 p.47	8
For Reading 2		(1)のイ , (2)のイ , (2)のウ	p.48～49	2

Lesson 5	Listen Up 本文 パート冒頭リード文 側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar , Check Points , Exercises Sounds	(1)のア , (2)のア (1)のイ , (2)のイ , (2)のウ (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア , (2)のア (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア	p.51 p.52・54・56 p.52・54・56 p.52・54・56 p.53・55・57 p.53・55・57 p.53・55・57 p.58～59 p.59	8
Lesson 6	Listen Up 本文 パート冒頭リード文 側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar , Check Points , Exercises Sounds	(1)のア , (2)のア (1)のイ , (2)のイ , (2)のウ (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア , (2)のア (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア	p.61 p.62・64・66 p.62・64・66 p.62・64・66 p.63・65・67 p.63・65・67 p.63・65・67 p.68～69 p.69	8
For Reading 3		(1)のイ , (2)のイ , (2)のウ	p.70～71	2
For Communication 2		(1)のア , (1)のイ , (2)のア , (2)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等1の [言語の使用場面] お よび [言語の働き]	p.72～73	2
Lesson 7	Listen Up 本文 パート冒頭リード文 側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar , Check Points , Exercises Sounds	(1)のア , (2)のア (1)のイ , (2)のイ , (2)のウ (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア , (2)のア (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア	p.75 p.76・78・80 p.76・78・80 p.76・78・80 p.77・79・81 p.77・79・81 p.77・79・81 p.82～83 p.83	8
Lesson 8	Listen Up 本文 パート冒頭リード文 側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar , Check Points , Exercises	(1)のア , (2)のア (1)のイ , (2)のイ , (2)のウ (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア , (2)のア (1)のウ , (1)の工 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ	p.85 p.86・88・90 p.86・88・90 p.86・88・90 p.87・89・91 p.87・89・91 p.87・89・91 p.92～93	8

	Sounds	(2)のア	p.93	
	For Reading 4	(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ	p.94 ~ 95	2
Lesson 9	Listen Up 本文 パート冒頭リード文 側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar, Check Points, Exercises Sounds	(1)のア, (2)のア (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア, (2)のア (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア	p.97 p.98・100・102 p.98・100・102 p.98・100・102 p.99・101・103 p.99・101・103 p.99・101・103 p.104 ~ 105 p.105	8
	For Communication 3	(1)のア, (1)のイ, (2)のア, (2)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等1の[言語の使用場面]お よび[言語の働き]	p.106 ~ 107	2
Lesson 10	Listen Up 本文 パート冒頭リード文 側注部新語・脚注部連語 Listen and Answer Questions Grammar, Check Points, Exercises Sounds	(1)のア, (2)のア (1)のイ, (2)のイ, (2)のウ (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のア, (2)のア (1)のウ, (1)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ (2)のア	p.109 p.110・112・114 p.110・112・114 p.110・112・114 p.111・113・115 p.111・113・115 p.111・113・115 p.116 ~ 117 p.117	8
Reading	本文 側注部新語・脚注部連語 Try!	(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のウ, (1)のエ, (2)のイ, (2)のウ, (2)のエ	p.119 ~ 122 p.119 ~ 122 p.123	9
Further Reading	本文 側注部新語・脚注部連語 Try!	(1)のイ, (2)のイ, (2)のウ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア (1)のウ, (1)のエ, (2)のイ, (2)のウ, (2)のエ	p.125 ~ 129 p.125 ~ 129 p.130 p.130	10
	文法のまとめ	英語に関する各科目に共通する 内容等2のイ・ウ	p.131 ~ 135	4
	Expressions	(2)のエ 英語に関する各科目に共通する 内容等2のア	p.136 ~ 138	3
	Word List	英語に関する各科目に共通する 内容等2のア	p.139 ~ 151	
	Phrase List	英語に関する各科目に共通する 内容等2のア	p.152	
			計	120